

業 務 概 要

—平成30年度のまとめ—

京都府立京都学・歴彩館

	項 目	頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組み	5
	海外若手研究員受入事業	5
	陽明文庫デジタル画像の閲覧	6
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	9
5	大・小ホール・学習室について	26
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	27
7	館蔵資料の撮影と複写	33
8	資料の貸与	34
9	図書館間相互貸出	39
10	共催事業等	40
11	資料の収集・整理・保存	42
	図書資料	42
	古文書	48
	行政文書	49
	写真資料	49
	文書の保存と複製資料の作成	49
	燻製	50
	管理委託現物資料	50
12	調査	51
	古文書	51
	行政文書	51
13	東寺百合文書	51
14	京都府行政文書修理事業	52
15	図書館実習・インターンシップ	52
16	新聞掲載	53
17	施設の状況	55
18	組織・業務分担・予算	56
19	平成30年度の主な活動	59
20	京都学・歴彩館の設置に向けた取組経過の概要	60
21	沿革	66

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信する事で京都文化のさらなる発展を旨とすることを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ちつづけ、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は3つあり、まず旧総合資料館でも行なっていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約84万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。2つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。3つ目は海外の研究者を招聘し、京都文化を研究してもらうこと。この3点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

平成28年12月に一部オープンしてから多くのイベントを開催しており、平成30年度においては「京都を学ぶセミナー」をはじめとする計126回の各種講座を実施し、のべ約6900人の参加を得た。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へさまざまな形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（1）利用者等の状況

○1階（交流フロア）、2階（探究フロア）の利用者数等について

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	12,394人	出納件数	12,084件
京都学ラウンジ	12,718人	書庫の図書資料	10,115件
学習室	63,985人	古文書等	597件
大ホール	14,509人	行政文書	1,372件
小ホール	8,122人	相談件数	10,803件
ホール利用	6,063人	資料の使用	68件
臨時利用	2,059人	（管理委託現物資料含む）	377点
2階 探究フロア （府立大附属図書館含む）	150,994人	資料の利用	148件
		（管理委託現物資料含む）	428点
合計	262,722人	資料の複写	9,473件 169,252枚
開館日数	322日	資料の館外貸与	49件
一日平均利用者数	816人	（管理委託現物資料含む）	412点（冊）

○駐車場の利用状況

台数	11,498台
うちサービス台数	2,969台
使用料収入	5,448,600円

※「サービス台数」とは、サービスタイム（15分以内）に出庫した車の台数

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成30年度受払状況							累計 (平成31年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料	1,070	2,768	1,950	—	5,788	0	5,788	392,641冊
	その他 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	1,728点
	小 計	1,070	2,768	1,950	—	5,788	0	5,788	394,369(点)
文書資料	古文書 ^{※2}	—	309	—	—	309	—	309	140,165点
	行政文書	—	—	—	67	67	—	67	91,572点
	写真資料	—	3	—	—	3	—	3	137,884点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	23,788点
	その他 ^{※3}	—	—	—	—	—	—	—	256点
	小 計	0	312	0	67	379	—	379	393,665点
管理委託 ^{※4} 現物資料	美術工芸資料	—	226	—	—	226	—	226	11,236点
	歴史民俗資料	—	17	—	—	17	—	17	18,959点
	その他 ^{※5}	—	5	—	—	5	—	5	23,663点
	小 計	0	248	0	0	248	—	248	53,858点
合 計		1,070	3,328	1,950	67	6,415	0	6,415	841,892冊(点)

※1 版木ほか。

※2 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※3 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。(鳥類はく製は京都こども文化会館に貸出中)

※4 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて収蔵)

※5 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、平成30年度までに収集した京都関係パンフレット1,924冊をKパンフレットとして、京都官庁関係パンフレット328冊をMKパンフレットとして簡易整理し、「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組み

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦を受けた優秀な外国人若手研究者を選考の上、当館の「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（平成30年度）：4人

氏名（敬称略）	国・地域	専門	研究テーマ	受入期間
ルーク・エジントン＝ブラウン	イギリス	考古学、考古学史	日本と西洋の古物研究家のつながり：考古論の発展と先史観の影響	平成30年10月2日～平成31年3月15日
サラ・パレットドシア	フランス	日本近世史、日本社会史・ジェンダー史	江戸時代における孝子褒賞に出る京都の遊女～浮世絵・文学に描かれた遊女の肖像	平成30年12月19日～平成31年3月15日
朴漢珉	韓国	朝鮮近代史、日朝関係史	明治期における京都と朝鮮の人々	平成30年10月15日～平成31年2月28日
ダン・シアー	アメリカ	日本中近世史	戦国江戸移行期における京都の日蓮宗の本山会合	平成30年10月1日～平成31年3月15日

(2) 陽明文庫デジタル画像の閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

30年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	327	人
閲覧利用資料数	6,383	件
閲覧ページ数	9,278	ページ

(備考：平成30年4月1日～平成31年3月31日実績)

(3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴史館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

平成30年度においては、『京都を学ぶ【丹波編】』（29年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【丹波編】」を開催するとともに、「南山城の文化資源」共同研究会（29年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【南山城編】』を平成31年3月に刊行しました。また、新たに「洛西の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

丹波の文化資源共同研究参加メンバー（平成 28～30 年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成 28 年度時）

伊勢 武史	京都大学フィールド科学教育研究センター 准教授
	丹波の森林資源の多面的な役割についての考察 —生態系サービスの観点から—
井上 一穂	同志社大学文学部 教授
	美山の仏像—平安時代を中心に—
大場 修	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	亀岡地域の街道筋における民家と景観
河原 典史	立命館大学文学部 教授
	保津川下りをめぐる船頭の展開—操船技術の継承—
久保 雅義	京都工芸繊維大学デザイン・建築学系 教授
	福知山における鉄道資源（国鉄・JR）の影響について
斉藤 利彦	佛教大学歴史学部 准教授
	西田直二郎と京都府史蹟勝地調査会調査 —福知山市紫宸殿田楽の映像撮影調査を中心に—
高橋 克壽	花園大学文学部 教授
	埴輪からみた丹波の方墳
原 雄一	京都学園大学バイオ環境学部 教授
	歩く道をプラットフォームとした地域資源の可視化
矢口 芳生	福知山公立大学地域経営学部 教授
	京都丹波蚕糸業の近現代史探訪
山本 浩樹	龍谷大学文学部 教授
	明智光秀の丹波支配

南山城の文化資源共同研究参加メンバー（平成 29～31 年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成 29 年度時）

上杉 和央	京都府立大学文学部 准教授
	南山城地域の文化的景観の基層
香川 貴志	京都教育大学社会科学科 教授
	名勝地・笠置の観光をめぐる環境変遷と将来展望
久保 中央	京都府立大学生命環境学部 准教授
	南山城のお茶の遺伝的特質の解明
佐伯 俊源	種智院大学人文学部 教授
	古代南山城の宗教的環境

島津 良子	京都文教大学 客員研究員
	「宇治製茶」製法の誕生と普及 —近世南山城茶の江戸販売を手がかりに—
竹門 康弘	京都大学防災研究所水資源環境研究センター 准教授
	木津川の自然と利用の文化
山田 邦和	同志社女子大学現代社会学部 教授
	不整形プラン都城案による恭仁京復元

洛西の文化資源共同研究参加メンバー（平成30～令和2年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成30年度時）

朝比奈 英夫	京都光華女子大学キャリア形成学部 教授
	中路家旧蔵『百人一首読解』から見た葛野地域の教養
鍛冶 宏介	京都学園大学人文学部 准教授
	木嶋神社と養蚕信仰
小林 啓治	京都府立大学文学部 教授
	乙訓地域における戦時体制 —1930年代から40年代の新神足村を中心に—
中野渡 俊治	花園大学文学部 教授
	平安時代の洛西と王権
野田 泰三	京都橘大学文学部 教授
	中近世移行期洛西地域における中間層の動向について
古田 裕三	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	古都京都の竹工芸の科学によるブランド化と市場創生・放置竹林撲滅のための基礎的研究 —洛西・乙訓地区を先端例に—
町田 香	京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター日本庭園研究部門 嘱託研究員
	洛西の庭園文化
村山 弘太郎	京都外国語大学国際貢献学部 講師
	洛西地域の社寺に関する歴史民俗的研究

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
平成30年 4月14日（土） ～7月8日（日） （4/30、5/3～5、 5/9、6/13、7/6、 7は休館） [開場日数 78 日]	明治150年記念展示「御一新！～19世紀後半の 京都～」 ・展示品：「御上洛御用掛御供奉御役人附」ほ か 64 点 ・附帯事業：ギャラリートーク ・概要：東京遷都などによる京都衰退の危機を 乗り越え、京都府の文化・産業の再興に向けた 挑戦の軌跡を振り返る展示。展示解説集を配 布。	1階 展示室	3,664人 (47人/日) ギャラリー トーク 4/17:80人 5/8:14人 6/12:22人 7/3:18人
平成30年 7月14日（土） ～9月9日（日） （7/16、8/8、 8/11、9/4は休館） [開場日数54日]	「井田照一展」 ・展示品：「夏（待つ）」ほか 23 点 ・附帯事業：ギャラリートーク ・概要：京都を拠点とし、世界的に活躍した版 画家・井田照一の展示。多様な技法と思索の深 化によって様々に変化する作家の軌跡を、京都 府が所蔵する作品を通して紹介。		1,711人 (32人/日) ギャラリー トーク 7/26:14人 8/30:22人
平成30年 9月15日（土） ～11月11日（日） （9/17、24、30、 10/8、10～12、 11/3は休館） [開場日数50日]	「平成30年度東寺百合文書展 中世の古文書 が近代によみがえる！」 ・展示品：「宝莊戲院領荘園注文案」ほか 107 点（借用 13 点（東京大学史料編纂所））（展 示替え有） ・附帯事業：記念講演会（10/20）、ギャラリー トーク、京都学ラウンジミニ講座（10月） ・概要：教科書にでてくるような歴史上の大き な出来事や有名な事件が東寺百合文書のなか にはどうあらわれているのかを紹介するとと もに、東寺百合文書が明治になって近代的な歴 史学研究の史料としてよみがえり研究に使わ れるようになった過程がわかる資料を展示。展 示解説集を配布。		3,128人 (63人/日) ギャラリー トーク 9/27:31人 10/6:36人 10/18:40人 10/27:15人

<p>平成30年 11月17日(土) ～12月9日(日) (11/23は休館) [開場日数22日]</p>	<p>「府大生∞歴史館 コラボで探る京都学」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示品: 「便用譚」ほか 66点(第1部28点、第2部38点) ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 第1部では『遊びをせんとや 古典籍へようこそ2』の中から京都府立大学生・大学院生が選んだ名品を展示し、第2部では歴史館所蔵資料を使った授業「日本文化史研究Ⅰ」の成果をふまえた京都の歴史・文化に関わる展示(高瀬川今昔譚、東寺五重塔を支えた人々、幕末の動乱と京都、近代京都の女子教育、京都における満蒙開拓義勇隊、絵図から読み解く大嘗会)を行った。展示解説集を配布。 		<p>1,101人 (50人/日) ギャラリー トーク 11/22:39人 11/29:58人</p>
<p>平成30年 12月15日(土) ～平成31年 3月10日(日) (12/24、12/28～ 1/4、9、14、2/11、 13は休館) [開場日数73日]</p>	<p>八塔亭二寧 村田陶苑展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示品: 「陶彫 作陶鬼」ほか 50点 ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 本展では、伝統的技法を駆使し洗練された京焼の器から、豪放かつユーモラスな表情をみせる陶彫作品まで、村田陶苑が生み出した多彩なやきものの魅力を京都府への寄贈を機に紹介。 		<p>2,790人 (38人/日) ギャラリー トーク 1/10:23人 2/9:26人 2/21:17人</p>
合計			12,394人

○ 常設展等

・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
平成30年4月12日(木) ～平成31年3月10日(日)	ホワイエ	田中太郎「サボテン」 柴田純生「三間四柱」
平成30年4月11日(水) ～10月10日(水)	光庭2	北村香織「覚めぬ森の夢」「木霊(こだま)」 「山懐(やまふところ)」
平成30年10月10日(水) ～平成31年4月10日(水)	光庭2	山崎良「おりめ」

・ 1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
平成30年4月12日(木) ～25日(水)	「第6回子ども読書本のしおりコンテスト」入選作品巡回展	京都府図書館等連絡協議会
平成30年4月26日(木) ～5月31日(木)	遊びをせんとや出版記念展示	
平成30年6月1日(金) ～7月4日(水)	京都府暫定登録文化財について	京都府文化財保護課
平成30年7月5日(木) ～8月8日(水)	京都府の日本遺産ーちりめんの里丹後 続編	与謝野町
平成30年8月9日(木) ～9月9日(日)	現代に伝わる文化財、未来に伝える文化財	(一社) 国宝修理装演師連盟
平成30年9月10日(月) ～16日(日)	中藤益子作品展示	京都国際文化交流機構
平成30年9月18日(火) ～30日(日)	現代に伝わる文化財、未来に伝える文化財	(一社) 国宝修理装演師連盟
平成30年10月1日(月) ～31日(水)	京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR) 成果展示会	府立大学京都地域未来創造センター
平成30年 1期：11月1日(木) ～19日(月) 2期：11月20日(火) ～12月11日(火) 3期：12月17日(月) ～平成31年1月8日(火)	古写真で見る洛北の暮らし ～上高野・修学院・山端～ 1期：観電沿線の風景 2期：アジア太平洋戦争下の洛北 3期：暮らし・子ども	修学院郷土誌研究会、 大阪府立大学教授 中村 治
平成31年1月10日(木) ～31日(木)	昭和10年鴨川水害について	
平成31年2月1日(金) ～28日(木)	京都の祭り・行事	京都市文化財保護課
平成31年3月1日(金) ～4月9日(火)	鉄道のはじまりと京都	京都鉄道博物館

・ 1階ホール前(大ホール前・小ホール北側)パネル展示

期 間	コーナー名
平成31年3月16日(土) ～3月28日(木)	茂山千之丞 京都府文化賞奨励賞受賞記念関連パネル展示 ・平成30年度京都府文化賞受賞者の紹介パネル ・これまでの受賞者を列挙したパネル

・ 1階小ホール展示

期 間	内 容
平成30年9月20日(木)～23日(日) 平成30年11月12日(月)～18日(日) 平成31年2月27日(水)～3月6日(水)	京電 写真展
平成30年12月25日(火) ～平成31年1月6日(日) 平成31年1月19日(土)～25日(金) 平成31年1月30日(水)～2月7日(木)	京都の明治150年 パネル展

・ 2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
平成30年4月12日(木) ～4月25日(水)	「第6回子ども読書本のしおりコンテスト」入選作品巡回展 (主催：京都府教育委員会、京都府図書館等連絡協議会) ※京都学ラウンジと2カ所で開催
平成30年8月20日(月) ～9月11日(火)	「昭和10年6月鴨川大洪水の記録」 ※第6回資料に親しむ会関連
平成31年3月27日(水) ～4月9日(火)	ワークショップ「あなたの知らない京都の旅を考える」 成果ポスター ※ワークショップ参加者が作った旅のプランをチームGANTT(*)が 編集 *チームGANTTについては共催事業ページ参照

◆ 講演・シンポジウム

・ 明治150年記念シンポジウム

平成30年に明治維新から150年の節目を迎えたことを記念して実施しました。

年月日	内 容・講 師等(敬称略)	参加者数
平成30年 6月3日(日)	明治150年記念シンポジウム —京都府文化・産業未来への挑戦— ○講演 ①小説家 万城目 学 「万城目作品における京都の取り扱い方」 ②竹中木版五代目摺師、(有)竹笹堂代表取締役 竹中 健司 「木版印刷 京都の仕事」 ③(株)クロスエフェクト代表取締役 竹田 正俊 「京都から拓くものづくりの未来」 ○座談会 万城目 学、竹中 健司、竹田 正俊 コーディネーター：京都府立大学大学院生命環境科学研究科講師 松田 法子	300人 大ホール

○ 展示関連講演

「平成30年度東寺百合文書展 中世の古文書が近代によみがえる！」関連事業として実施しました。

年月日	内 容・講 師等(敬称略)	参加者数
平成30年 10月20日(土)	<p>「平成30年度東寺百合文書展 中世の古文書が近代によみがえる！」関連講演 「中世の古文書が近代によみがえる！」</p> <p>○講演 東京大学史料編纂所教授 高橋 敏子 「史料編纂所の事業と東寺百合文書」 東京大学史料編纂所特任研究員 宮崎 肇 氏 「古文書を写すということ—中世の「書写」から近代の 複写」まで—</p>	127人 大ホール

○ その他シンポジウム

年月日	内 容	参加者数
平成31年 3月2日(土)	<p>地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム「鉄道史と地域をつなぐ」を鉄道史という主題のもと、初めて、当館を会場として実施。</p> <p>第一部 地域における活動の事例報告</p> <p>「連載『夢幻軌道を歩く』から」 京都新聞記者 浅井 佳穂 氏 「丹波の鉄道と観光」 南丹市立文化博物館学芸員 井尻 智道 氏 「廃線歩きと記憶の継承」『京都市電の廃線跡を探る』著者 中村 浩史 氏 「伏見チンチン電車の会の活動について」 伏見チンチン電車の会代表 竹場 真司 氏</p> <p>第二部 ディスカッション</p> <p>コーディネーター: 京都府立京都学・歴彩館 若林 正博 パネラー: 第二部の報告者</p>	304人 大ホール

◆ 講座

○京都を学ぶセミナー「丹波編」

「丹波の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【丹波編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師(敬称略)	参加者数
平成30年 5月20日(日)	<p><第1回> 講演 ①京都府立大学教授 藤原 英城 「名所案内記作者中川喜雲の誕生」 ②福知山公立大学教授 矢口 芳生 「郡是と近代丹波の蚕糸業」 ※北部産業創造センター(綾部市)で開催</p>	40人
平成30年 6月5日(火)	<p><第2回> 講演 龍谷大学教授 山本 浩樹 「明智光秀の丹波支配」</p>	233人 大ホール
平成30年 7月10日(火)	<p><第3回> 講演 京都大学准教授 伊勢 武史 「人はなぜ、森で感動するのか」</p>	59人 小ホール
平成30年 8月7日(火)	<p><第4回> 講演 京都学園大学教授 原 雄一 「丹波の道を歩く-地図アプリを使った山歩き-」</p>	80人 大ホール
平成30年 9月14日(金)	<p><第5回> 講演 立命館大学教授 河原 典史 「保津川下りの歴史 -船頭的生活となりわい-」</p>	90人 大ホール
平成30年 10月26日(金)	<p><第6回> 講演 佛教大学准教授 斉藤 利彦 「撮影された丹波の田楽 -紫宸殿田楽の映像記録撮影と西田直二郎-」</p>	65人 大ホール
平成30年 11月6日(火)	<p><第7回> 講演 同志社大学教授 井上 一穂 「美山の仏像たち -その魅力-」</p>	100人 大ホール
平成30年 12月7日(金)	<p><第8回> 講演 花園大学教授 高橋 克壽 「丹波地方の古墳 -その特徴と謎に迫る-」</p>	152人 大ホール
平成31年 1月8日(火)	<p><第9回> 講演 京都府立大学教授 大場 修 「丹波地域を彩る民家と町並み -その歴史と魅力を探る-」</p>	165人 大ホール

○ 海外若手研究員受入事業 府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内 容・発表者（敬称略）	参加者数
平成31年 2月22日 (金)	海外における日本研究の新地平 ―海外若手研究員による府民向けセミナー― 発表 ①ダン・シアー 「16世紀を切り抜けた京都法華宗 -会合と礼銭-」 ②朴漢珉 「京都から朝鮮へ、朝鮮から京都へ -明治期、海を渡って活動した人々-」 ③サラ・バレットドシア 「近世社会の中の遊女 -イメージと実像とそその変化-」 ④ルーク・エジントン＝ブラウン 「19世紀日本と西洋の考古学による文化交流」	94人 小ホール

○ 設立80周年記念 陽明文庫講座

科学研究費補助金（基盤研究（S））「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展―知の体系の構造伝来の解明」との合同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
平成30年 11月10日(土)	○講演 ①九州国立博物館長 島谷 弘幸 「近衛家伝来の書と家瀬」 ②京都大学大学院文学研究科教授 吉川 真司 「藤原道長と平安貴族社会」 ○座談会 「陽明文庫の設立から、デジタル画像の公開まで」 ・陽明文庫常務理事・文庫長 名和 修 ・島谷 弘幸 ・吉川 真司 ・京都学・歴彩館長 金田 章裕 ・東京大学史料編纂所教授 尾上 陽介 司会：東京大学史料編纂所教授 田島 公	350人 大ホール

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、京都学ラウンジにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
平成30年 4月5日、 12日、19日、 26日	平安時代の文化を考える —平安初期の文化から いわゆる国風文化まで—	京都学推進課 吉岡 直人	110人
平成30年 ①5月10日 ②17日 ③24日 ④31日	「遊びをせんとや」出版記念 ①新聞記事、執筆うら話 ②「都の魅」摺物工の仕事、今に ③江戸時代・女性のきもの事情 ④ 幕末日本の天文学と数学	資料課 ① 楠 久美 ② 祖父江 長良 ③ 藤本 恵子 ④ 藤原 直幸	113人
平成30年 ①6月7日 ②14日 ③21日 ④28日	暫定登録文化財や文化財保護について ①全体概要、有形民俗文化財 ②記念物・考古資料 ③建造物 ④美術工芸（考古資料除く）	府文化財保護課 ①岸岡 貴英 向田 明弘 ②古川 匠 ③村瀬 由紀史 ④中野 慎之	111人
平成30年 7月5日、 12日、19日、 26日	江戸時代の京都の数学 —塵劫記と算額について—	資料課 藤原 直幸	77人
平成30年 8月2日、 9日	地方紙と業界紙で探る戦後京都の プロ野球事情〔続〕～松竹ロビン スから洋松ロビンス～	資料課 若林 正博	41人
平成30年 8月23日	京都に『阿波踊り』があった！？ ～歴彩館の史資料に見る京都の近 代史～	京都府立大学大学院 博士前期課程修了 松村 啓一	14人
平成30年 8月30日	室町時代の京都と地方	京都府立大学大学院 博士後期課程 川口 成人	56人
平成30年 9月6日	海とともに生きた江戸時代の人々 —丹後沿岸地域に着目して	京都府立大学大学院 博士後期課程 稲穂 将士	28人

平成30年 9月13日	明治初期の産業道路～銀の馬車道の調査	京都府立大学文学部教授 菱田 哲郎	34人
平成30年 9月20日	『さっさよやっさ』を探して －近代と戦後、宮津の茶屋町	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科講師 松田 法子	26人
平成30年 9月27日	平安京に生きる ～都市に生きる人々の悲喜交々～	京都学推進課 吉岡 直人	40人
平成30年 ①10月4日 ②11日 ③18日 ④25日	東寺百合文書よもやま話 ①百合の箱の話 ②開閉厳禁！不開門の話 ③ペーパークラフトの話 ④むまく■の話	資料課 ① 松田 万智子 ② 鍛冶 利雄 ③ 伊藤 実矩 ④ 大塚 活美	150人
平成30年 11月1日 8日、15日 22日	“贈り物”から室町時代を考える	京都学推進課 川口 成人	159人
平成30年 11月29日	洛中洛外の起源とコスモロジー	館長 金田 章裕	66人 ※
平成30年 12月6日 20日	戦時下の建物強制疎開 －京都の街が伝える戦争の記憶－	京都学推進課 川口 朋子	72人
平成31年 1月10日 17日、24日 31日	鴨川“よろずな”世界	資料課 山本 哲	168人
平成31年 2月7日 14日、21日 28日	天下人のお召物 ～秀吉の直衣・家康の直垂～	京都学推進課 寺嶋 一根	133人
平成31年 3月7日 28日	江戸時代の禅宗寺院の世界 －妙心寺本山建築から見た近世－	副館長(京都学推進課長) 平井 俊行	76人

※平成30年11月29日の「洛中洛外の起源とコスモロジー」については、小ホールで実施

○ 京都学ラウンジ展示解説

京都学ラウンジの展示テーマに関連した解説会を開催しました。

年月日	内 容	講 師	参加者数
平成30年 11月15日(木) 12月7日(金) 20日(木)	古写真で見る洛北の暮らし ① 叡電沿線 ② アジア太平洋戦争下の洛北 ③ 暮らし・子供	修学院学区郷土誌研究会	91人
平成31年3月 2日(土) 7日(木)	鉄道のはじまりと京都	京都鉄道博物館	52人

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
平成30年12月4日(火)	英語字幕付映画『古都』(2016年版)の上映と関連資料紹介	369人 大ホール

※上映会を記念して“上映記念展示コーナー”を1階京都学ラウンジに、“関連資料閲覧コーナー”を2階閲覧室に設置(11月15日~12月11日、観覧者1,794人)

○ 童司改メ三世茂山千之丞京都府文化賞奨励賞受賞記念 特別公演&トーク

三世茂山千之丞氏の平成30年度京都府文化賞奨励賞受賞を記念して開催しました。

年月日	内 容・出演者等(敬称略)	参加者数
平成31年3月23日(土)	○ 狂言 「柿山伏」、「附子」 ・ 茂山 千三郎 ・ 丸山 やすし ・ 茂山 逸平 ・ 茂山 千之丞 ・ 井口 竜也 ○ 対談 ・ 三世 茂山 千之丞 ・ 演出家、舞台芸術家 杉原 邦生 (平成29年度文化賞奨励賞受賞者)	430人 大ホール

※“30年度京都府文化賞受賞者の紹介パネル”及び“これまでの受賞者を列挙したパネル”を大ホール前に、“関連資料閲覧コーナー”を2階閲覧室に設置(3月19日~3月26日)

○ 寺子屋講座

京都府立大学文学部歴史学科の教員・学生と連携して寺子屋講座を開催しました。

年月日	内容	参加者数
平成30年12月15日（土）	京都の歴史を歩こう！～粟田口界限編～	37人

○ 古文書ヨル学会—入門編—

当館が所蔵する古文書や絵図等をテキストとして、くずし字の読み方などを解説する初心者向けの古文書解読講座を開催しました。

年月日	テーマ	参加者数
平成30年4月18日（水）	「風説書」を読む 資料課 山本 琢	15人 特別閲覧室2
平成30年5月16日（水）	数字がでてくる東寺百合文書を使って 計算してみましょう 資料課 岡本 隆明	20人 特別閲覧室2
平成30年6月20日（水）	京都の町の覚え書 資料課 大塚 活美	18人 特別閲覧室2
平成30年7月18日（水）	洛南の名勝 資料課 若林 正博	23人 特別閲覧室2
平成30年8月22日（水）	江戸時代の「陰陽師」を読む 資料課 山本 琢	29人 小ホール
平成30年9月19日（水）	検地帳 資料課 大塚 活美	29人 小ホール
平成30年10月24日（水）	古絵図を読んで江戸時代の淀をめぐる 資料課 若林 正博	38人 小ホール
平成30年11月21日（水）	幕末の記録・情報 資料課 山本 琢	33人 小ホール
平成30年12月19日（木）	「かな」を読む 資料課 大塚 活美	36人 小ホール
平成31年1月16日（水）	宿場町の伏見から近世日本を読む 資料課 若林 正博	38人 小ホール
平成31年2月20日（水）	「高札」を読む 資料課 大塚 活美	35人 小ホール
平成31年3月20日（水）	「証書類」を読む 資料課 山本 琢	43人 小ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
平成30年 4月17日（火）	都をどりの資料に親しむ—京の春の風物詩の誕生とその歴史— 資料課 松田 万智子	14人 特別閲覧室 2
平成30年 5月8日（火）	幕末の「瓦版」に親しむ—騒乱の時代を読み解く— 資料課 山本 琢	10人 特別閲覧室 2
平成30年 6月12日（火）	京都府布令書に親しむ—その活用方法など— 資料課 楠 久美	11人 特別閲覧室 2
平成30年 7月3日（火）	古写真に親しむ—京都舎密局の写真から— 資料課 大塚 活美	16人 特別閲覧室 2
平成30年 8月9日（火）	寺子屋講座『学ぼう！琵琶湖疏水』 琵琶湖疏水アカデミー代表 小森 千賀子	14人 小ホール
平成30年 9月11日（火）	資料を知ろう！～災害の記録を振り返る～ 資料課 山本 哲	14人 特別閲覧室 2
平成30年10月16日（火）	石田有年・才次郎の銅版画 資料課 松田 万智子	12人 特別閲覧室 2
平成30年11月27日（火）	古典籍に親しむ 京都府立大学文学部教授 藤原 英城	21人 特別閲覧室 2
平成30年12月11日（火）	漱石ゆかりの資料に親しむ 資料課 柴田 容子	13人 特別閲覧室 2
平成31年 1月15日（火）	漢籍に親しむ—「正史三国志」と「三国志演義」 資料課 齊藤 まや	20人 特別閲覧室 2
平成31年 2月12日（火）	鉄道社史に親しむ 資料課 若林 正博	21人 特別閲覧室 2
平成31年 3月19日（火）	古写真に親しむ—京都の乗り物ヒストリー— 資料課 大塚 活美	18人 小ホール

○ 京都の出版社に聞く

京都の出版社の方をお招きし、自社のこと、刊行している出版物のこと、御自身の日々の仕事内容等について御講演いただきました。また、講演する出版社が発行した所蔵資料を会場に展示し、参加者の方々に手にとってご覧いただきました。講座及び資料展示とも、参加者からの多くの質問に、講師にお答えいただき好評を得ました。18時半から20時まで開催し、30～50代を中心に幅広い年代の方にご参加いただきました。

年月日	講 師(敬称略)	参加者数
平成30年 5月25日 (金)	京都新聞出版センター 編集部課長 佐々木 教雄	31人 一般閲覧席
平成30年 6月22日 (金)	白川書院 編集顧問 山岡 祐子	30人 一般閲覧席
平成30年 8月24日 (金)	思文閣出版 新刊部編集 田中 峰人	37人 小ホール
平成30年 9月28日 (金)	臨川書店 編集部 小野 朋美	24人 小ホール
平成30年11月30日 (金)	淡交社 編集局 編集第2部部長 井上 尚徳 編集第1部次長兼「淡交」編集長 坪倉 宏行	30人 小ホール
平成30年12月21日 (金)	日本華道社 編集部編集長代理 橋本 武尚	22人 小ホール
平成31年2月22日 (金)	ミネルヴァ書房 代表取締役 杉田 啓三	46人 小ホール
平成31年3月22日 (金)	法蔵館 統括(編集長兼務) 戸城 三千代	34人 小ホール

○ その他の講座

年月日	内 容	参加者数
平成30年4月22日(日)	京都に伝わるお話会(当館資料課職員)	11人

○ 館外での講座(当館職員・敬称略)

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
平成30年 6月19日(火)	「御一新! 明治150年 京都の 殖産興業を支えた科学・技術 (サイエンス・テクノロジー) 」 資料課 若林 正博	主催: 関西文化学術研都市 推進機構 けいはんなプラザ(相楽郡 精華町)	20人

平成30年 7月8日(日)	信長上洛～京都・織田信長入京 から450年～ 資料課 大塚 活美	主催：京都府京都文化博物館 京都府京都文化博物館（京 都市中京区）	30人
平成30年 10月8日(月)	つながる大阪と伏見・京都、江 戸時代から明治そして現代 資料課 若林 正博	主催：京阪流通システムズ、 協力：京都市ほか 京阪シティモール（大阪市 中央区）	40人
平成30年 10月18日(木)	平成30年度 記録史料保存セミ ナー 資料課 若林 正博	主催：大分県歴史資料保存 活用連絡協議会ほか 大分県立図書館（大分市）	40人
平成30年 11月19日(月)	「東寺百合文書WEB」について 資料課 岡本 隆明	主催：「歴史災害研究のため のオープンデータ・ショ ーケース」（研究代表者・ 加納靖之） 国立情報学研究所（東京都 千代田区）	50人
平成31年 1月22日(火)	巨椋池の歴史と民俗 ～京都 学・歴彩館の資料から～ 資料課 大塚 活美	主催：久御山町教育委員会 久御山町役場（久世郡久御 山町）	139人
平成31年 1月22日(火)	「和算」について 資料課 藤原 直幸	主催：向日市立第2向陽小 学校 向日市立第2向陽小学校 （向日市）	小学校 6年生 3クラス
平成31年 2月20日(水)	資料所蔵者はどこまでサービ スできるか？ 資料課 岡本 隆明	主催：「アジア芸術学」の 創成 国際ワークショップ 「東アジア文化研究のフロ ンティア」 立命館大学（京都市北区）	30人
平成31年 3月14日(木)	GIS Day in 関西2019 洛中洛 外図屏風の空間的視点 資料課 大塚 活美	主催：立命館大学地理学教 室 立命館大学（京都市北区）	50人
平成31年 3月21日(木)	みやこ学び旅2019 資料課 若林 正博	主催：みやこ学び旅2019実 行委員会 フシミ大学（京都市伏見区）	15人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
平成30年3月28日(水) ～5月8日(火)	「京都に伝わるお話」関連資料	子ども読書本のしおりコンテスト 入選作品巡回展 (主催 京都府教育委員会、京都府図書館等連絡協議会)	100枚
平成30年4月12日(木) ～7月10日(火)	「明治150年記念展示 御一新！」関連資料	当館展覧会	1000枚
平成30年7月12日(木) ～9月11日(火)	「井田照一展」関連資料	当館展覧会	324枚
平成30年9月13日(木) ～11月13日(火)	東寺百合文書関連資料	当館展覧会	800枚
平成30年11月9日(金) ～12月11日(火)	「陽明文庫講座」関連資料	当館主催講座	270枚
平成30年11月15日(木) ～12月11日(火)	「古都」関連資料 「古都」京都を知る	当館主催映画上映会	300枚
平成30年12月13日(木) ～平成31年3月10日(日)	八塔亭二寧 村田陶苑展 関連資料	当館展覧会	550枚
平成31年2月14日(木) ～3月10日(日)	「海外若手研究員による府民向けセミナー」関連資料	当館主催セミナー	180枚
平成31年2月14日(木) ～4月9日(火)	「京都の鉄道」関連資料	当館主催シンポジウム	560枚
平成31年3月19日(火) ～3月26日(火)	「童司改メ三世茂山千之丞 特別公演」関連資料	当館主催 特別公演&トーク	430枚

- 加えて、「京都を学ぶセミナー 丹波編」「京都文化博物館」「京都のミュージアム」「京舞井上流」に関するミニコーナーなどを設けました。また、閲覧室書架に資料紹介 POP を展示したり、資料紹介 POP を使ったハロウィン風飾り付けを行いました。

◆ 「統計京都」の表紙への資料写真掲載

京都府が毎月発行する「統計京都」の表紙に、当館が所蔵する資料の写真を掲載しました。

巻号	テーマ	出典資料
4月号	葵祭路頭の儀	石井行昌撮影写真資料
5月号	京都府庁庁舎全景	近藤壘撮影写真資料
6月号	六月十四日祇園會山鉾列書・祇園會御祭禮御行列次第	六月十四日祇園會山鉾列書・祇園會御祭禮御行列次第
7月号	北笠置 笠置山下瞰	撮影鑑
8月号	子供の蟬とり	黒川翠山撮影写真資料
9月号	鴨川右岸堤防御蔭橋下流	昭和10年6月災害写真帳
10月号	舞鶴城之図	維新前民政資料
11月号	通天橋の秋	新選京都名所 三木翠山氏創作版画
12月号	京都府織物試験場作業室	旧一号書庫写真資料
1月号	高橋大隅兩家祕傳供御式目	高橋大隅兩家祕傳供御式目
2月号	石清水八幡宮全図	中井家文書
3月号	織田信長禁制	東寺百合文書

◆ 資料ガイドの執筆(京の記憶アーカイブに掲載)

1	脇役が語る古写真資料「葵祭」から「葵橋」その1	平成30年 4月2日(火)
2	脇役が語る古写真「葵祭」から「葵橋」その2	平成30年 4月27日(土)
3	北垣国道銅像	平成30年 5月11日(土)
4	昭和大禮寫真帖	平成30年 5月20日(月)
5	京都に子午線があった時代	平成30年 5月21日(火)
6	石井行昌氏撮影の伊勢・二見の写真	平成30年 6月15日(土)

7	市電の歴史的一幕を証言する古写真資料	平成30年 7月18日(木)
8	京都舎密局の写真	平成30年 8月15日(木)
9	京都を襲った大火の記録	平成30年 9月7日(土)
10	京都舎密局の笠置町の写真	平成30年 10月15日(火)
11	伊達政宗泰山府君祭都状案	平成30年 11月15日(金)
12	石井邸で撮影した人物写真	平成30年 12月17日(火)
13	写真資料のガラス原板	平成31年 1月18日(土)
14	北垣知事の北海道視察	平成31年 2月13日(木)
15	茶道具を擬人化？ 中国の茶書『茶具図贊』	平成31年 3月1日(日)

◆きょうと府民だより 明治150年京都創生コラムの執筆

第1回 海のある京都府へ～京都府域変遷史～

平成30年10月号

第2回 「都をどり」の始まり

平成30年11月号

第3回 京都舎密局の写真～新しい技術の研究・利用～

平成30年12月号

5 大・小ホール・学習室について

ア 大・小ホール

今年度大ホール利用者数は14,509人、小ホールの利用者数は8,122人（臨時学習室としての利用を含む）でした。

イ 学習室について

84席の自習室については、今年度の利用者数は63,985人。臨時利用として小ホールを自習室として開放し、利用者は2,059人でした。（8月以降、小ホールを催事としての使用に限定し、臨時学習室としての使用は廃止）

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール	
					うち臨時学習室
30年4月	28日	4,446人	1,510人	143人	55人
5月	27日	6,572人	110人	925人	909人
6月	29日	6,251人	923人	921人	800人
7月	27日	6,073人	815人	1,201人	295人
8月	29日	6,715人	80人	105人	0人
9月	25日	4,538人	1,038人	203人	0人
10月	29日	5,397人	1,752人	906人	0人
11月	27日	5,807人	1,110人	732人	0人
12月	25日	4,454人	2,953人	554人	0人
31年1月	25日	4,375人	987人	617人	0人
2月	26日	4,939人	1,237人	997人	0人
3月	25日	4,418人	1,994人	818人	0人
計	322日	63,985人	14,509人	8,122人	2,059人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207席）で、グランドオープンから、利用時間を9時から21時まで（土日は17時まで）と大幅に延長しています。開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

本年度の利用者数は150,994人でした。

（1）京都資料総合閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利用者数 (月単位)	出納の状況							
			図書（書庫資料）		古文書		行政文書		合計	
			件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊)数
30年 4月	28	12,091 (431.8)	828	3,435	58	251	134	573	1,020	4,259
5月	27	13,379 (495.5)	933	3,758	52	524	127	634	1,112	4,916
6月	29	13,602 (469.0)	917	3,997	61	601	122	558	1,100	5,156
7月	27	17,621 (652.6)	895	4,079	54	449	109	476	1,058	5,004
8月	29	12,841 (442.8)	876	4,276	47	249	109	697	1,032	5,222
9月	25	7,870 (314.8)	776	3,926	45	298	81	462	902	4,686
10月	29	13,592 (468.7)	944	5,320	44	239	104	535	1,092	6,094
11月	27	13,519 (500.7)	926	5,452	37	257	136	727	1,099	6,436
12月	25	11,798 (471.9)	831	4,151	55	887	109	604	995	5,642
31年 1月	25	13,175 (527.0)	811	3,529	42	549	132	1,023	985	5,101
2月	26	12,710 (488.8)	740	3,574	61	1,185	122	678	923	5,437
3月	25	8,796 (351.8)	638	3,198	41	380	87	466	766	4,044
合計 (1日あたり)	322	150,994 (468.9)	10,115 (31.4)	48,695 (151.2)	597 (1.9)	5,869 (18.2)	1,372 (4.3)	7,433 (23.1)	12,084 (37.5)	61,997 (192.5)

(2) 資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

	口頭	電話	文書	合計
30年4月	705	148	20	873
5月	781	121	7	909
6月	735	159	23	917
7月	717	134	10	861
8月	748	140	17	905
9月	568	134	8	710
10月	787	162	16	965
11月	765	188	13	966
12月	742	93	18	853
31年1月	846	111	22	979
2月	762	167	32	961
3月	727	164	13	904
合計	8,883	1,721	199	10,803

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	3,701	542	40	4,283
複写依頼	2,186	169	16	2,371
特定図書在所蔵調査	1,729	570	49	2,348
図書に関する書誌的調査	62	31	3	96
人名・地名等の読み方調査	96	28	14	138
人物・団体調査	124	35	14	173
内容調査	600	170	53	823
その他	385	176	10	571
計	8,883	1,721	199	10,803

ウ 相談事例

○公家の日記や古い記録に残っている桜の開花に関する記述をまとめた本があると聞いた。その本を見たい。

【回答】

『古記録によるサクラの開花データに基づく春季気温の気候復元』の pp. 75-100 に「資料 A.1 京都におけるサクラの満開や花見に関する古記録中の記述一覧」が掲載されている。そこには、「日本歴（太陰暦）」、「西暦（太陽暦）」、「記述」、「出典古記録名」の順で作成された一覧表がある。ほかにも開花だけではなく満開日についても記述がある。

○京都市山科区にある随心院で毎年3月に行われる「はねず踊り」について知りたい。

【回答】

白川書院刊行の雑誌「京都」第357号に掲載の記事「花の里 紅梅ほころぶ春の郷土芸能“はねずおどり”」によれば、「はねず踊り」の「はねず」とは「うす紅色」を意味する古代用語である。

「はねず踊り」は元禄時代のころから随心院の近くに住んでいた農民が、当地に住んでいたとされる小野小町と深草少将の恋の伝説を歌ったのが始まりとされる。幕末から明治にかけて、随心院の境内だけではなく各家を訪問して終日踊るほどの大行事となる。

後継者不足により大正時代に一度減んだものの、昭和48年に復活した。

○京都市内の交差点名のルールが知りたい。南北の通り名と東西の通り名を組み合わせて呼ぶが、「西大路四条」（南北の通りが先）だったり、「四条河原町」（東西の通りが先）だったりするのはなぜか？

【回答】

『京都の不思議』 pp. 61-63 の「「四条河原町」と「河原町四条」は違う？」によると、バスの停留所名について京都市交通局にたずねたところ、基準があるわけではなく、市電時代の名称を引き継いでいるとの回答を得たことが書かれている。

『地名が語る京都の歴史』 pp. 352-353 には「「縦通り」「横通り」の優先性」を掲載。それによると、もともとは条坊制によって区画されたため、条を区切る東西の通りが優先された。しかし室町時代以降、有力な町が面する通りを優先するようになり、東西優先と南北優先が混じるようになっていったことが書かれている。どちらの通りを優先するかについては、行政的な条例もないようだ、としている。

『近世京都の都市と社会』 pp. 134-138 の「近世京都の地点表記法」によると、『地名が語る京都の歴史』で紹介されていたルールに加え、近代以降に一部の通りが拡

幅・幹線化され、拡幅された通りが既存の狭い通りに対して優位となったことや、市街電車の開通により停留所が設けられたことも、交差点名の決め方の要因となっているとしている。

※上記はすべて交差点の呼称についての記述であり、交差点から移動した位置については、その地点が面している通り名を先にする（『近世京都の都市と社会』pp.134-136）。たとえば、東西の通りである三條通と、南北の通りである室町通の交差点付近の位置については、東西南北どの方向に移動しているかにより、4パターンの呼び分けが生じる。

・三條通沿いであって、室町通から東（西）に進んだ地点を「三條通室町東入ル（西入ル）」

・室町通沿いであって、三條通から北（南）に進んだ地点を「室町通三條上ル（下ル）」

と表記する。後にくる通の「通」部分は省略し、「入ル」、「上ル」、「下ル」は、それぞれ「いる」、「あがる」、「さがる」と読む。

○明治45年6月12日の府知事通達の文書を見たい。具体的には、市電開通に伴って、祇園祭の山鉾巡行を禁止する通達を出したとのこと。

【回答】

「京都府百年の年表」明治45年6月12日の箇所で、「大森知事、市電の杜絶を理由に祇園祭山鉾巡行を禁止、20日鉾町総代・清々講社幹事・八坂神社宮司ら、請願書を提出（川上市長・浜岡商議所会頭幹旋）、24日府譲歩、巡行許可」と記載されている。出典は「京都日出新聞」明治45年6月12日、6月22日、6月25日。

また、明治45年6月の箇所にも同様の記述があり、出典として「京都日出新聞」の6月10日の記事を挙げている。

「京都日出新聞」の明治45年6月10日に「祇園会の危機」という記事があり、巡行禁止命令が出されたことが掲載されている。山鉾巡行のルート上に市電の電線があり、市電の運転を休止させて電線を切断しなければ、山鉾は従来の巡行ルートを進むことができないが、京都府としては市電の運転を休止すべきではないと判断したためである。

その後、日出新聞では連日、山鉾問題に関する記事を掲載している。

6月16日の記事「山鉾問題と当局」では、京都府の担当者の談話を紹介している。

「府は決して巡行を差止めたるにあらず」とあり、京都府が山鉾巡行の主催者に対し、市電の運転に支障のないルートを選ぶよう交渉したところ、従前のルートでなければ巡行できない、と主催者側から提案を拒絶されたという。

最終的には同年6月25日の記事で、電線六箇所を切断し、市電の運転を休止させながら、山鉾の巡行が許可されたことが書かれている。

「京都府公報」の明治45年6月分を確認したが、山鉾問題に関する記載はなかった。

○天保の飢饉の際に施しをした京都の町人、特に商人の名前がわかる資料はないか。

【回答】

雑誌「文化・大原」108号 pp. 1-4 掲載の論文「熊谷蓮心「施行之日記」～天保飢饉と京の人々～」に、天保8(1837)年1月、京都奉行所の平塚茂喬のよびかけに応じ、鳩居堂の熊谷直恭と儒医の北小路貞一が中心となって三条河原に小屋を建て、15ヶ月にわたって救済活動を行ったことが書かれている。

この論文で、『京都町触集成11』にも関連する記述があるとの記載があったので確認したが、p. 57(157文書)天保8年正月の項で書かれているのは儒者・北小路三郎が三条河原で救済活動をしたいと願い出て、奉行所がそれを許可したという内容のみ。

『京都の歴史 6巻 伝統の定着』の pp. 467-468 に、天保8年に絹織仲買や、三井・大丸・蛭子屋・白木屋などの呉服商たちが西陣織の織工へ粥の施しをしたという記述があった。

『京都庶民生活史』p. 359 に、天保の飢饉の際に施しをした商人などを記した1枚ものの出版物『京都ほどこしかどみ(二編)』の解説と一部のみ翻刻を掲載。林英夫編・柏書房刊(1973年)『番付集成』p. 154 に天保4年12月『京都ほどこしかどみ(二編)』の写真を掲載。三ツ井、大丸、岩垣、大村、柏原、下村など、施しをした人物とその内容がくずし字で記されている。

当館の資料・デジタル画像検索システム「京の記憶アーカイブ」で、天保の飢饉に関する資料を検索すると、行政文書『熊谷直恭天保飢饉救恤事業』、古文書『西堂町文書』、『施行日記』などの関連資料の所蔵も確認できた。

○伏見区深草に「キトロ町」や「ケナサ町」などカタカナの地名がある。カタカナである理由や由来を知りたい。

【回答】

『深草西浦町略史』pp. 78-80 に「カナの町名」という項目が掲載されている。それによると、この地区にはキトロ町、ケナサ町以外にもススハキ町、フケノ内町、ヲカヤ町などカタカナの地名が多くあるが、このように多い理由は不詳であるとしている。

「キトロ町」については、「キトロ」の語源は全く不明であるとしながらも、この町にはキトロ川という小川が流れており、この小川を流れている水が「黄泥(きどろ)」であるために、これに由来したという説が紹介されている。この説の真否は不明としている。

「ケナサ町」にも「ケナサ川」（「砂川」）が流れている。この地区の砂川学区はこの川に由来するが、ケナサの語源については不明としている。

他に『深草を語る』p.129、『城下町伏見町名の由来と秘話』、『深草誌』にもカタカナ地名について少し記述はあるが、「キトロ」や「ケナサ」の語源については書かれていなかった。

* 上記も含め当館で受け付けた相談事例の詳細は、

http://www.archives.kyoto.jp/?page_id=2269 で御覧いただけます。

また、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースにも登録しています。本年は73件の事例を登録しました。多くの事例を登録したことにより、国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解説、整理・保存等についての相談に、面会や郵送等で対応するものです。今年度はカウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で101件の相談がありました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	157
複写申込件数	125
複写枚数	3,038

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計17件、138点の特別観覧がありました。詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	楽器	「笙」ほか	6
2	個人	日本画	紀廣成「閻魔王図」ほか	4
3	個人	日本画	幸野楳嶺《妓女図》ほか	13

4	個人	日本画	狩野永敬「十二ヶ月歌意図屏風」	1
5	個人	楽器	「律管」ほか	4
6	個人	日本画	「大津絵 大黒天」ほか	5
7	個人	日本画	祇園井特「婦人と小僕図」ほか	30
8	個人	染織	縞見本帳「御島本」ほか	2
9	個人	人形	大将人形一式	1
10	個人	陶芸	九代帯山与兵衛 「色絵金彩唐人図三足香炉」	1
11	個人	染織	「櫻と菊青海波に梅文様振袖」	1
12	個人	日本画、陶芸	谷口香嶠「養老子子図」ほか	36
13	個人	日本画	谷口香嶠「出町柳農夫」ほか	14
14	個人	染織	白麻地四時培花文様茶屋染帷子	1
15	個人	諸工芸	「神輿」	1
16	個人	日本画	島田雅喬「瓢箪」ほか	6
17	個人	日本画、版画	吉川観方「十二代 片岡我童」ほか	12
合計				17件 138点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)
図書資料	19	137	54	178
図書・雑誌	6	12	32	57
古典籍	13	125	22	121
文書資料	19	194	64	204
古文書	3	137	22	48
行政文書	12	43	21	67
写真資料	3	10	15	83
近代文学資料	1	4	6	6
管理委託現物資料	30	46	30	46
合計	68	377	148	428

(2) 行政文書の自写の状況

1,758点 62,803枚

複写状況 (H30.4.1~H31.3.31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	9,473	149,381
	カラー		10,051
(撮影)※			12,979
画像プリント			2,295
マイクロダブリンター			4,504
国会図書館デジタル送信 資料用端末による印刷	白黒		2,938
	カラー		83
合計		9,473件	169,252枚

※撮影は、複写枚数に含まない。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 18件（一部重複あり）、235点の貸与を行いました。

1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都府京都文化博物館 総合展示・京の至宝と文化「古社寺保存法の時代」	博覧会品物目録 第1-5号	1
		九鬼男爵日本美術論	1

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 平成30年度総合展示「信長上洛～京都・織田信長入京から450年～」	織田信長譜 信長記 繪本拾遺信長記	26
2	京都府立丹後郷土資料館 企画展「丹波の算法少女 -楽しみながら学ぶ和算と算額-」	塵劫記 探蹟算法	3
3	宇治市教育委員会 宇治市源氏物語ミュージアムリニューアルオープン記念特別 企画展「宇治の名所と旅する源氏」	修紫田舎源氏	38
4	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 展覧会「掌のなかの図案-近代京都と染織図案Ⅱ」	都紋百華ほか	96
5	武蔵野美術大学美術館・図書館 「和語表記による和様刊本の源流」展	円光寺(伏見版) 木活字	1

6	龍谷大学文学部（博物館実習室） 2018年度龍谷大学博物館実習「十二月展 百京夜行」展	京城勝覧	2
7	サントリー美術館 「扇の国、日本」	善隣國寶記	1
8	舞鶴市 平成30年度舞鶴市新指定文化財展「藤孝来たる」	伊勢物語闕疑抄	2

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等	資料名	点数
1	丹後郷土資料館 企画展「丹波の算法少女～楽しみながら学ぶ和算と算額～」	宮本守三家文書	5
2	京都文化博物館 平成30年度総合展示「信長上洛～京都・織田信長入京から450年～」(前期)	東寺百合文書、革嶋家文書、当進軒文庫旧蔵絵図	14
3	京都文化博物館 平成30年度総合展示「信長上洛～京都・織田信長入京から450年～」(後期)	東寺百合文書、革嶋家文書、当進軒文庫旧蔵絵図	13
4	八代市立博物館未来の森ミュージアム 平成30年度秋季特別展覧会「ザ・家老 松井康之と興長～細川家を支え続けた「忠義」」	革嶋家文書	2
5	山梨県立博物館 「文字が語る 古代甲斐国」	東寺百合文書	1
6	サントリー美術館 「扇の国、日本」	東寺百合文書	4
7	東京国立博物館 「国宝 東寺—空海と仏像曼荼羅—」	東寺百合文書	2

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会の名称・会期	資料名	点数
1	香雪美術館 生誕170・没後100年記念 中之島香雪美術館開館記念「鈴木松年 今蕭白と呼ばれた男」	御巡幸一件ほか	2
2	京都文化博物館 平成30年度総合展示「信長上洛～京都・織田信長入京から450年～」	政典ほか	3
3	京都文化博物館 平成30年度総合展示「古社寺保存法の時代」	布令書ほか	23

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称・会期	資料名	点数
	なし		

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称・会期	資料名	点数
	なし		

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計31件(177点)の貸与を行いました。貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点
1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(オーストラリア連邦下院議長ほか)	日本画	野々内良樹「緑映」	1
2	浜松市秋野不矩美術館	展覧会「絵本にみる日本画」に出品のため	日本画	入江酉一郎「竹取物語」ほか	36
3	京都市学校歴史博物館	展覧会「明治150年記念 京都画壇之明治」に出品のため	日本画	幸野樸嶺「山桜に群鳥図」ほか	2
4	中原史雄	展覧会「引き継がれるもの 中原史雄と絵画が語る20年」に出品のため	洋画	中原史雄「或る風色の残像 96-7」	1
5	横須賀美術館	展覧会「集え！英雄豪傑たち展」に出品のため	日本画	鈴木松年「八岐の大蛇退治図」	1
6	森田隆司(作家遺族)	展覧会「伊東慶遺作展」に出品のため	陶芸	伊東慶「湖映」ほか	10
7	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(オーストラリア連邦下院議長ほか)	日本画	鹿見良陌「気」 野々内良樹「緑映」	2
8	東京藝術大学大学美術館	展覧会「西郷どん」に出品のため	日本画	七卿落図屏風	1
9	三重県総合博物館	展覧会「おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～」に出品のため	郷土玩具	「多度神社の弓矢」ほか	28

10	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業 二役室展示のため	日本画	中町力「あまのはしだて」ほか	7
11	香雪美術館	展覧会「鈴木松年—今蕭白と呼ばれた男」に出品のため	日本画	鈴木松年「見返り幽霊」ほか	3
12	大津市長等創作展示館・三橋節子美術館	展覧会「絶筆・余呉の天女～辞世の画」に出品のため	日本画	三橋節子「陶器登り窯」ほか	3
13	東京ステーションギャラリー、宮城県美術館	展覧会「横山華山」に出品のため	日本画	横山華山「富士山図」ほか	5
14	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業 二役室展示のため	日本画	来野あぢさ「久美浜湾」ほか	7
15	京都市学校歴史博物館	展覧会「開館20周年記念画題で見る 近代の日本画表現」に出品のため	日本画	広田多津「おしろい」ほか	2
16	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(タジキスタン共和国大統領ほか)	日本画	木下章「光悦寺の萩」	1
17	京都国立博物館	展覧会「京のかたな」に出品のため	郷土玩具	伏見人形「布袋」	7
18	浜松市秋野不矩美術館、田辺市立美術館	展覧会「秋野不矩—あふれる生命の輝き」に出品のため	日本画	秋野不矩「ヴィシユヌプール寺院」	1
19	尾形光琳筆「風神雷神図屏風」復元複製里帰り実行委員会	「ジャポニズム2018」の一環「コロタイプ複製による日本文化・美術の紹介」事業に出品のため	日本画	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神雷神図、酒井抱一筆夏秋草図屏風	1
20	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(ブルガリア共和国議長ほか)	日本画	久保嶺爾「清風くつわ池」	1
21	一般財団法人今日庵 茶道資料室	展覧会「旅する茶道具」に出品のため	風俗	黒漆塗紋蒔絵茶弁当	1

22	京都府立堂本印象美術館	展覧会「漆軒と印象」に出品のため	日本画	堂本漆軒「百合花色紙短冊箱」ほか	3
23	笠岡市立竹橋美術館	展覧会「幸野樸嶺が伝えたこと」に出品のため	日本画	幸野樸嶺「次郎左衛門雛之図」ほか	6
24	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業 二役室展示のため	日本画	中尾英武「三岳寺金光寺」ほか	7
25	奈良県立美術館	展覧会「姿の美、衣装の美…肉筆浮世絵」に出品のため	日本画	磯田湖竜齋「遊女対鏡図」ほか	4
26	染・清流館	展覧会「イメージを染める中井貞次の世界」に出品のため	染織	中井貞次「巨木積雪」	1
27	サントリー美術館	展覧会「河鍋曉齋 その手に描けぬものなし」に出品のため	染織	「黒紹羽織」（河鍋曉齋羽裏付）	1
28	中信美術館	展覧会「堂本元次展」に出品のため	日本画	堂本元次「鐘の鳴り響く街」ほか	18
29	京都府商工労働観光部観光政策課	「御食国×京都 和食の祭典」のうちの展示に出品のため	人形、風俗	古今雛ほか	10
30	京都府立堂本印象美術館	展覧会「絵になる姿」に出品のため	日本画	三谷十糸子「女」ほか	4
31	内閣府迎賓館京都事務所	インド上院副議長接遇のため	日本画	上村松篁「花の中」ほか	2
合計 31 件 177 点					

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、31館、75冊の貸出し、3館、6冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	2	4	木津川市立加茂図書館	6	-
京都市中央図書館	11	-	精華町立図書館	5	1
京都市右京中央図書館	3	-	亀岡市立図書館中央館	2	-
京都市伏見中央図書館	3	-	南丹市立中央図書館	2	-
京都市山科図書館	4	-	南丹市日吉図書室	1	-
京都市久世ふれあいセンター図書館	1	-	綾部市図書館	2	-
京都市醍醐図書館	1	-	福知山市立図書館夜久野分館	1	-
向日市立図書館	2	-	舞鶴市立東図書館	2	-
長岡京市立図書館	5	-	舞鶴市立西図書館	3	-
宇治市中央図書館	2	-	宮津市立図書館	1	-
宇治市西宇治図書館	2	-	与謝野町立図書館	1	-
城陽市立図書館	1	-	京丹後市立峰山図書館	1	-
久御山町立図書館	-	1	京丹後市立図書館大宮図書室	1	-
八幡市立八幡市民図書館	4	-	京丹後市立図書館久美浜図書室	1	-
京田辺市立中央図書館	1	-	京都府立医科大学付属図書館	2	-
井手町図書館	1	-	京都大学附属図書館	1	-
			計	75	6

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っており、平成30年度の借受利用は、1件、3冊でした。

10 共催事業等

○府立大学文学部歴史学科の授業『日本文化史研究Ⅰ』を当館にて実施しました。

当館の資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：平成30年度前期(15回)、受講者：23人、展覧会会期：平成30年11月17日(土)～12月7日(日))

○ 講座・研究会等

当館を会場に、大学等と連携して次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
近世京都日朝交流セミナー	平成30年 7月17日(火)	京都府立大学歴史学 科文化情報学研究室	15人 京都学 研究室
日本古文書学会大会	平成30年 9月8日(土) ～10日(月)	日本古文書学会 京都学・歴彩館ほか	322人 大ホール
日仏文化の融合シンポジウム	平成30年 9月10日(月)	京都国際文化交流機 構	110人 大ホール
時の響2018 親子で楽しむワ ークショップ	平成30年 10月20日(土) 21日(日)	京都三大学教養教育 研究・推進機構	149人 小ホール
国際京都学シンポジウム 「テレビドラマの外国語」	平成30年 10月21日(日)	京都府立大学	280人 大ホール
国際京都学セミナー 「伝統＋テクノロジーが生み出す 新たな美 明治150年 京都工芸 のモノがたり」	平成30年 10月27日(土)	京都府立大学	60人 小ホール
国際京都学シンポジウム 「古代日韓関係史と京都 —倭と高句麗の交流—」	平成30年 10月28日(日)	京都府立大学	177人 大ホール
国際交流協定記念シンポジウム 「日本と中国における居住環境 —環境デザインのひろがり—」	平成30年 12月1日(土)	京都府立大学大学院 ランドスケープ学研 究室	36人 小ホール
東寺文書研究会	平成31年 3月31日(日)	東寺文書研究会 京都学・歴彩館	35人 小ホール

○ 京都学・歴彩館ゼミ

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「リベラルアーツ・ゼミナールー京都学・歴彩館ゼミ」を開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。(期間：平成30年度後期(15回)、受講者：8人)

○ 英語で京都

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構による教養科目「英語で京都」において、当館が公開している「京の記憶アーカイブ」のコンテンツの英訳に取り組みました。その事前準備として、関連する資料の閲覧も行いました。(期間：平成30年度後期(15回)、受講者：38人)

○ 「あなたの知らない京都の旅」を考える

チームGANTT(※)と共催で、新たな旅のプランを考えるワークショップを開催しました。参加者の成果を元にしたポスターを作成し、館内で発表しました。館蔵資料の探し方を紹介し、参加者の調査に使って頂きました。

※チームGANTT(五十音順)

安藤哲朗(滋賀大学教育学部准教授)

後藤忠徳(京都大学工学部准教授)

常見俊直(京都大学理学部講師)

年月日	内容	参加者数
平成30年 5月 8日(火)	プレワークショップ	14人
平成30年10月23日(火)	ステップ1 インTRODクシヨン	25人
平成30年10月30日(火)	ステップ2 自分で資料探し	19人
平成30年11月27日(火)	ステップ3 発表会	12人

○ 「京都新聞」(毎月第三土曜日朝刊、教育面)に、歴彩館所蔵の古典籍を紹介するコラム「遊びをせんとや」を連載。(府立大学教員と共同執筆)

	日付	内容	執筆者
98	平成30年 4月 21日	舍利講式	京都府立大学准教授 鳴海 伸一
99	平成30年 5月 19日	官板大日本沿海實測録	資料課 藤原 直幸
100	平成30年 6月 16日	寶永花洛細見図	京都府立大学教授 母利 司朗
101	平成30年 7月 21日	京都学校の記	資料課 楠 久美

102	平成 30 年 8 月 18 日	源氏物語	京都府立大学教授 安達 敬子
103	平成 30 年 9 月 15 日	今なり平物語	京都府立大学教授 藤原 英城
104	平成 30 年 10 月 20 日	遜志齋集	京都府立大学教授 小松 謙
105	平成 30 年 11 月 17 日	畸人伝 続畸人伝	資料課 祖父江 長良
106	平成 30 年 12 月 15 日	釈迦御一代図会	京都府立大学准教授 本井 牧子
107	平成 31 年 1 月 19 日	節用集	京都府立大学講師 藤本 灯
108	平成 31 年 2 月 16 日	千字文	資料課 齊藤 まや
109	平成 31 年 3 月 16 日	勧誘彌陀次郎發心傳	資料課 合田 淳

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

- ・古文書

- ・行政文書

- ・写真資料

- ・近代文学資料

- ・管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)	
京都資料	484	1,101	568	2,153	
京都に関連するその他の資料(歴史、美術、宗教等)	350	894	122	1,366	
官庁資料	京都関係	105	625	1,208	1,938
	国・他府県	131	148	52	331
合計	1,070	2,768	1,950	5,788	

ア 歴史・地誌

書名	著編者等
<p>京(みやこ)のまちなみ史：平安京への道京都のあゆみ</p> <p>集う京都 20 世紀：ホテル・百貨店・四条通の絵葉書</p> <p>京都嵯峨野誕生物語：京都ウエストサイド・ヒストリーなび：+5 つの時代のウォーキング・なび</p> <p>京都府の史跡・遺跡ハンドブック 第 1 集</p>	<p>丸山俊明著</p> <p>森安正，生田誠，高田聡編</p> <p>さらんネットガイドブック委員会編集</p> <p>京都府教育委員会文化財保護課編集</p>
<p>淀藩（シリーズ藩物語）</p> <p>久多荘文書（叢書京都の史料：15）</p> <p>美豆頼宮</p> <p>京都人にも教えたい京都百景</p> <p>あやべ大好き Book：I love Ayabe, you love Ayabe</p> <p>洛北上高野・山端</p> <p>山科事典：ふるさと山科歴史街道・史跡巡り資料集</p> <p>氷所太平記</p> <p>宮津という地に居城を拵え：地中に眠る宮津城（特別展図録：平成 29 年度）</p> <p>奥田駒蔵とメイゾン鴻乃巢：寺田出身の青年が作った大正文士のサロン：平成 30 年度秋季特別展（城陽市歴史民俗資料館展示図録：59）</p> <p>イクメン!?：平安貴族の子育てパパ宣言!!</p> <p>豪農たちの近世・近代：19 世紀南山城の社会と経済</p> <p>有職装束大全</p> <p>京都の御大礼：即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび</p> <p>『御堂関白記』の研究</p> <p>東寺百合文書 13</p>	<p>常松隆嗣著</p> <p>京都市歴史資料館編</p> <p>植村善博監修</p> <p>鳥居本幸代著</p> <p>ねじっとくとみんなでつくるあやべ大好き BOOK 編集委員会編</p> <p>中村治著</p> <p>ふるさとの会歴史街道・史跡巡り部会著 鏡山次郎編</p> <p>中川興史著</p> <p>京都府立丹後郷土資料館編</p> <p>[城陽市歴史民俗資料館編]</p> <p>斎宮歴史博物館編</p> <p>井奥成彦，谷本雅之編</p> <p>八條忠基著</p> <p>「京都の御大礼即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび」展実行委員会編集</p> <p>倉本一宏著</p> <p>京都府立京都学・歴彩館編</p>

イ 宗教

書名	著編者等
<p>賀茂別雷神社史料 絵図 神奈備稻荷山巡拝 向日神社史：御鎮座千三百年記念 京法衣商史：京法衣事業協同組合設立十周年記念誌 清水寺成就院日記 初版 第3巻 比叡山の僧兵たち：鎮護国家仏教が生んだ武力の正当化</p>	<p>賀茂別雷神社史料編纂会編 伏見稻荷大社附屬講務本庁 向日神社崇敬会、向日神社 法衣商史編纂委員会編 清水寺史編纂委員会編 成瀬龍夫著</p>
<p>高山寺典籍文書綜合調査団研究報告論集 平成 29 年度 醍醐寺（シリーズ・中世の寺社と武士：第1巻） 浄土宗の展開と総本山知恩院 知恩院史料集 日鑑篇 31 京都永観堂禪林寺史 誓願寺文書の研究：戦国・京都・総本山 青木新門の親鸞探訪 近世仏書の文化史：西本願寺教団の出版メディア 大谷派本願寺伝統行事：裏話と風物詩 改訂新版 近代化する金閣：日本仏教教団史講義 新島襄と明治のキリスト者たち：横浜・築地・熊本・札幌バンドとの交流</p>	<p>高山寺典籍文書綜合調査団[編] 西弥生編著 今堀太逸著 総本山知恩院史料編纂所監修・編集 五十嵐隆明著 誓願寺文書研究会編 青木新門文 溝縁ひろし写真 万波寿子著 川島眞量著 川嶋正編 藤田和敏著 本井康博著</p>

ウ 芸術

書名	著編者等
<p>仁和寺と御室派のみほとけ：天平と真言密教の名宝 堂本印象：創造への挑戦 京都画壇の明治：明治150年記念企画展 明治150年展：明治の日本画と工芸 特別展池大雅：天衣無縫の旅の画家</p>	<p>東京国立博物館、真言宗御室派総本山 仁和寺、読売新聞社編 京都府立堂本印象美術館編 京都市学校歴史博物館 京都国立近代美術館 京都国立博物館、読売新聞社編集</p>

<p>京焼：伝統と革新</p> <p>田村宗立：リアリティーを追求した画家：没後100年：平成30年度秋季特別展</p> <p>京都西山高原アトリエ村：1988-2017：開村30周年記念誌</p> <p>不死鳥のまち京都：文化遺産と災害</p> <p>京都・西陣：平成(1989～2019年)：辻良一写真集 昭和を駆け抜ける</p> <p>京都青窯会協同組合設立50周年記念誌</p> <p>うるしたのし：京塗表悦四代</p>	<p>中ノ堂一信著</p> <p>田村宗立〔画〕；南丹市立文化博物館編</p> <p>貴志在介制作・編集</p> <p>土岐憲三著</p> <p>辻良一著</p> <p>林忠彦写真</p> <p>京都青窯会協同組合</p> <p>三木表悦</p>
<p>トリプル・ビル：京都・パリ友情盟約締結60周年記念：有馬龍子記念京都バレエ団特別公演</p> <p>京都シネマスケッチ紀行：中島貞夫監督と歩く</p> <p>丹後・東海の2つの地域の方言の比較</p> <p>言葉・語源・訛り・方言：京都府相楽郡精華町(旧川西村)</p> <p>現代京都詩話会創立40周年記念誌</p> <p>子ども・若者を戦場に送らない：京都退職教職員の証言</p> <p>京都府立京都学・歴彩館所蔵新免安喜子氏寄贈連歌俳諧書目録</p>	<p>京都バレエ団</p> <p>大森俊次著</p> <p>京丹後市教育委員会編集</p> <p>井上孝博著</p> <p>現代京都詩話会</p> <p>京都退職教職員の会・文集編集委員会編集</p> <p>京都府立大学文学部日本・中国文学科編</p>

エ 社会・産業

書名	著編者等
<p>放鷹：祇園祭鷹山復興のための基本設計</p> <p>京都発NPO(non profit organization)最善戦</p> <p>京都府私立中学高等学校保護者会連合会70年の歩み</p> <p>教室に社会科の魅力を：京都府小学校社会科教育私史</p> <p>2018年問題勝利奮闘記</p> <p>桂川100選：植物・昆虫・野鳥の写真集</p> <p>丹後野山の花700選</p> <p>京都における腎不全医療の黎明期</p> <p>京都の訪問診療所おせっかい日誌</p>	<p>祇園祭山鉾連合会編</p> <p>平尾剛之、内田香奈編著</p> <p>京都府私立中学高等学校保護者会連合会</p> <p>山下正巳著</p> <p>民放労連京都放送労働組合</p> <p>桂川クラブ</p> <p>菅谷浩明編集</p> <p>記録する会編集</p> <p>渡辺西賀茂診療所編</p>

京都における景観の形成過程に関する研究 亀岡の名木 緑と文化を訪ねて 2 水道の民営化・広域化を考える 桂離宮に学ぶ敷石と飛石の極意 近代京都における乳食文化の受容と菓子：南蛮菓子と西洋菓子 京料理人、四百四十年の手間：「山ばな平八茶屋」の仕事 花政のしごと 京都文久元年創業 京都のみちづくり	岡本和己[著] 亀岡市名木古木選定委員会編 尾林芳匡、渡辺卓也編著 豊蔵均著 橋爪伸子著 園部平八著 青幻舎 和田章仁著
近世烏羽街道における牛車の活動 京都鉄道博物館汽笛一声	竹中友里代著 京都鉄道博物館編

オ 参考図書

書名	著編者等
アーカイブサミット 2017 in Kyoto 報告書 遊びをせんとや (古典籍へようこそ：2) 翻刻明月記 3 自安貞元年 至嘉禎元年 (冷泉家時兩亭叢書：別巻4) 平安博物館回顧展：古代学協会と角田文衛の仕事：京都文化博物館開館30周年記念 博物館と観光：社会資源としての博物館論 京都「私設図書館」というライフスタイル	天野絵里子[ほか]編 京都府立大学文学部日本・中国文学科、 京都府立京都学・歴史館編 [藤原定家著] 冷泉家時兩亭文庫編 古代学協会、京都文化博物館編集 青木豊[ほか]編著 田中厚生著

カ 官庁資料

区分	書名	著編者等
京都関係	「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校報告書 京都府保健医療計画 第2期京都府がん対策推進計画 新景観政策：10年とこれから	京都府教育委員会編集 京都府 京都府 京都市都市計画局都市景観部 景観政策課編

<p>路地保全・再生デザインガイドブック</p> <p>乙訓地域保健医療計画</p> <p>宇治市くらしの便利帳 2018</p> <p>城陽市高齢者保健福祉計画：第7期城陽市介護保険事業計画</p> <p>やわたスマートウェルネスシティ計画</p> <p>福知山市総合防災ハザードマップ</p> <p>舞鶴市第7期高齢者保健福祉計画</p> <p>第3次京丹後市障害者計画・第5期京丹後市障害福祉計画</p>	<p>京都市都市計画局まち再生・創造推進室</p> <p>京都府乙訓保健所</p> <p>宇治市, サイネックス</p> <p>城陽市福祉保健部</p> <p>八幡市</p> <p>福知山市役所危機管理室, ゼンリン京都営業所</p> <p>舞鶴市福祉部高齢者支援課, 福祉企画課, 健康・子ども部健康づくり課編</p> <p>京丹後市健康長寿福祉部障害者福祉課編</p>
<p>国</p> <p>参議院法制局七十年史</p> <p>裁判所データブック 2018</p> <p>在留外国人統計 平成30年版</p> <p>データでみる県勢 2019</p> <p>空き家対策に関する実態調査結果報告書</p> <p>水害統計 平成28年版</p> <p>数字でみる鉄道 2018年版</p>	<p>参議院法制局</p> <p>最高裁判所</p> <p>[法務省編]</p> <p>矢野恒太記念会編</p> <p>総務省行政評価局</p> <p>国土交通省水管理・国土保全局河川計画課編集</p> <p>国土交通省鉄道局監修</p>

キ 古典籍

資料名	著編者等
<p>洛外社寺絵巻</p> <p>都名所百景</p> <p>生間流 鯉切方図巻</p> <p>大坂より京都迄登船独案内</p> <p>女用至宝 都名所尽</p> <p>名妓花の曙</p>	<p>梅川東拳〔ほか〕画</p> <p>松尾花堂編</p> <p>池田東籬齋編集</p> <p>松井治兵衛編</p>

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,451	4	995
一般(歴史・美術・官庁等)	2,978	70	844
京 都 官 庁 関 係	892	—	291
計	7,321	74	2,130

(2) 古文書

ア 収集した資料

文書群名 (資料名)	形 態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容／特記)
澤田家文書	古 文 書	305	京都市、滋賀 県	慶安2(1649) 年～大正10 (1921)年	澤田家は御所の建築等に関わっ ていた家柄で、寺社等の建物図を はじめとする建築関係の資料の ほか、澤田家の家系に関するも の、近江国の村文書など、内容は 多岐にわたる。
万寿寺町名簿・ 間口坪数等一覧 表及び地価修正 簿	古 文 書	1	京都市	明治 31 (1898)年～ 明治 44 (1911)年	万寿寺町の自治組織が引き継い できた資料で、万寿寺町の住民名 簿・住宅の間口坪数・各住戸の地 位等級が記載された冊子と、 地価修正簿の冊子が合冊されて いる。
一般用米穀類購 入通帳	古 文 書	1	京都市	昭和 43 (1968)年	昭和 43(1968)年3月1日付で京 都市上京区が発行した「一般用米 穀類購入通帳」。
磯田道史氏寄贈 資料	古 文 書	1	京都府、滋賀 県	慶応 4(1668) ～明治 2 (1869)	市井の意見を汲み上げるために 設置された目安箱に投函された 文書を編綴した9冊組冊子のうち の1冊。
美濃屋彦三郎農 具売出引札版木	古 文 書	1	京都市	江戸時代後 期	松原烏丸西入ルの美濃屋彦三郎 が扱った農具の売出引札の版木。

(3) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、永年保存文書の移管は関係各課からの受け入れ作業を進めるとともに、有期限保存文書は、以下のとおり67点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数	完 結 年 度	点数
平成4年度	1,389	昭和46年度～平成7年度	67
過年度分(昭和26年度～平成3年度)	293		
合 計	1,682	合 計	67

イ 整理

所蔵する有期限文書について、目録の作成等により公開の準備を進めています。

文書の区分	作成目録	点数
有期限文書(有期明45-0001ほか)	簿冊目録	93

(4) 写真資料

ア 収集

本年度は八坂病院写真資料3点を収集しました。

(5) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	平成30年度収集			累 計(平成31年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古 文 書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		
図書資料	約37.3万コマ	平成27年11月～
古文書	約2.1万コマ	
写真資料	約7.9万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約4.5万コマ	

(平成31年3月31日現在)

(6) 燻蒸

本年度は、平成29年度から平成30年度に寄贈を受けた古文書、古典籍、美術・工芸資料等について、平成30年10月に燻蒸を行いました。

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は17件248点で、明細は次のとおりです。

部門		資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	① 染織	朝倉美津子「翠明」	1	寄贈	岩井 礼子
	② 漆芸	冬木偉沙夫「いざない天女幼想」 ほか	2	寄贈	廣田 千恵
	③ 染織	伊砂利彦「山湖落日」ほか	3	寄贈	竹村 由美子
	④ 日本画	也阿弥ホテル	1	寄贈	二宮 健
	⑤ 歴史	御書ほか	16	寄贈	後藤 数馬
	⑥ 陶芸	村田陶苑「陶彫 軍鶏」ほか	30	寄贈	村田 敏光
	⑦ 陶芸	木村盛和「天目釉皿」ほか	13	寄贈	西脇 てい子
	⑧ 陶芸	西村宗三郎一件資料	1	寄贈	西村 克美
	⑨ 染織	朝倉美津子「Elevation」ほか	3	寄贈	朝倉 美津子
	⑩ 日本画	田能村直入「君子造愛帖」ほか	6	寄贈	板倉 光世
	⑪ 日本画	鈴木松年「鬼の念仏・座頭」	1	寄贈	西脇 てい子
	⑫ 日本画 等	狩野安洪「和歌三神像」ほか	155	寄贈	藤井 三希子

⑬ 日本画	藤原敏行「幽深」	1	寄贈	藤原 敏行
⑭ 日本画	山口華楊「葉桜 大下絵」ほか	8	寄贈	井上 素
⑮ 日本画	由里本出「海の風」ほか	2	寄贈	由里本 出
⑯ 日本画	幸田暁冶「日向の兔と木陰」ほか	4	寄贈	星野 桂三
⑰ 洋画	中原史雄「東風緑彩」	1	寄贈	中原 史雄
合計				17件 248点

1 2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 古文書

調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
所蔵資料概要調査	個人	平成30年 11月6日(水)	亀岡市篠町	家蔵古文書の調査、保存方法 や寄贈について相談への助 言
所蔵資料概要調査	個人	平成31年 2月8日(土)	京都市上京区	家蔵古文書の調査、寄贈に向 けての協議

(2) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存期限が経過した有期限保存文書から67点を選別しました。

また、各課共用書庫に保管された平成24年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書を調査しましたが、選別収集する文書はありませんでした。

1 3 東寺百合文書

(1) 展覧会(再掲)

「平成30年度東寺百合文書展 中世の古文書が近代によみがえる！」

平成30年9月15日(土)～11月11日(日) 当館1階展示室

(2) 百合通信の発行

東寺百合文書をより分かりやすく紹介し、親しみを持ってもらうため、「百合通信」14号を発行しました。

(3) 百合百話の公開(東寺百合文書WEBに掲載)

75	平成30年 6月12日(火)	「引付」から見える東寺と中世社会 資料課 伊藤 実矩
76	平成30年 9月26日(水)	平成30年度東寺百合文書展 中世の古文書が近代によみがえる！ 資料課 伊藤 実矩
77	平成30年 10月15日(月)	東寺百合文書展、後期がはじまりました！ 資料課 岡本 隆明
78	平成30年 10月29日(月)	百合文書を作ってみよう！その3（ペーパークラフト編2～1/1サイズも作ってみた～） 資料課 伊藤 実矩
79	平成30年 11月16日(金)	東寺百合文書展終了&解説文を公開しています 資料課 岡本 隆明
80	平成31年 1月31日(木)	百合文書をつくってみよう！番外編 ～柿渋を塗ってみた～ 資料課 伊藤 実矩
81	平成31年 2月20日(水)	東寺の禁制 資料課 大塚 活美

(4) 東寺百合文書の翻刻

第13巻リ函二・又函一 B5判 2, 20, 404, 32

平成30年10月1日発行、京都学・歴彩館編、思文閣出版発行

1 4 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」（京都府立庁前年（慶応3年）から昭和21年度までの15,407点）について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料9点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手当を行いました。

1 5 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 平成30年8月28日～8月31日（4日間） 2人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

16 新聞掲載

年月日	新聞名	見出し
平成30年 4月21日(土)	朝日新聞 (朝刊) 他	知られざる御一新 近代化 模索の記録 府立京都学・歴彩館 で展示
平成30年 5月11日(金)	読売新聞	20日、綾部で「丹波」学ぶセミナー
	毎日新聞	明治150年記念シンポジウム「京都府文化・産業未来への挑 戦」
平成30年 5月17日(木)	産経新聞	150年後 何を残せるか討論 シンポの参加者募集 来月3日 に京都学・歴彩館
	〃	東京遷都による衰退 京都再興の軌跡紹介
平成30年 5月19日(土)	日本経済新 聞	歴史的画像 自由に使って 関西の図書館・資料館、ネットで 土産品にも印刷可能に
平成30年 6月4日(月)	京都新聞	(明治維新150年) 新分野挑戦、革新の気概… 京都のものづく り 特長探る 左京 小説家や会社社長ら討議
平成30年 6月6日(水)	毎日新聞	海外から若手研究員 30歳代4人 日本学 発展目指す
	京都新聞	光秀の丹波支配学ぶ 左京でセミナー 龍大教授が講演
平成30年 6月26日(火)	京都新聞	(明治維新150年) 文明開化 京の復興今に 幕末の大火や東 京遷都で一時衰退 「五箇条の御誓文」写しや絵図 60点
平成30年 7月27日(金)	京都新聞	宿泊・文化交流機能も 旧府立総合資料館跡地 検討委 府が 活用方向性
平成30年 8月1日(水)	北日本新聞	富山大空襲「地獄変相図」 歌人・吉井勇の日記 八尾疎開時 に目撃 (京都学・歴彩館所蔵「續北陸日記」)
平成30年 9月5日(水)	朝日新聞	版画でたどる井田照一展 京都学・歴彩館で無料
平成30年 9月11日(火)	京都新聞	百合文書 歴史研究の礎に 左京で古文書学会 保存の歩み 振り返る
平成30年 9月15日(土)	朝日新聞	版画でたどる井田照一展
平成30年 9月24日(月)	毎日新聞	学校で習った歴史 史料で 平安から戦国まで紹介 京都学・歴 彩館 東寺百合文書を展示
平成30年 9月27日(木)	産経新聞	京都学・歴彩館で「東寺百合文書展」近代によみがえる中世

平成 30 年 9 月 28 日(金)	京都新聞	府「歴史館」運営見直しへ 改革検討委、利用率低迷で
平成 30 年 10 月 7 日(日)	京都新聞	(明治維新 150 年) 大学・企業 京都の力発信 左京で「創生フェス」 研究紹介や実験体験
平成 30 年 10 月 16 日(火)	京都新聞	足利氏の栄枯ひもとく 左京で東寺百合文書展
平成 30 年 10 月 24 日(水)	京都新聞 (朝刊) 他	近衛家伝来の宝物を収蔵 陽明文庫設立 80 年で講座 来月 10 日、左京の京都学・歴史館 史料デジタル化など語る
平成 30 年 10 月 30 日(火)	毎日新聞	陽明文庫 80 周年 京都で記念講座
平成 30 年 11 月 3 日(土)	京都新聞	(凡語) 川端康成「古都」で登場人物が好んで散策する場だったのが府立植物園
平成 30 年 11 月 5 日(月)	京都新聞	京滋・若手研究者、市民らと企画 専門性×資料で新京都市旅 今月末発表へ
平成 30 年 11 月 8 日(木)	朝日新聞	次々と教科書で見た名前…東寺百合文書を公開
平成 30 年 11 月 13 日(火)	産経新聞	来日研究員を通じて日本発信
平成 30 年 11 月 23 日(金)	京都新聞	摂関政治の実像語る 歴史館で陽明文庫設立 80 周年記念講座 歴史的資料 デジタル化の意義確認
平成 30 年 11 月 29 日(木)	京都新聞	京都学の史料 府立大生紹介 歴史・文化 奥深さ発信 歴史館で展示 当時五重塔など6テーマ
	〃	研究者、科学・芸術を語り合う
平成 30 年 12 月 3 日(月)	毎日新聞	多彩な国宝・重文 陽明文庫 80 周年 進むデジタル化 新知見続々
平成 30 年 12 月 12 日(水)	京都新聞	「五輪の精神 尊重を」 64 年東京で入賞・田淵名誉教授 メダル主義に戒め 左京で講演
	〃	初の地方開催、京都で日本学術会議 シンポや分科会
平成 30 年 12 月 23 日(日)	京都新聞	伝統美の楽しみ方 議論 「均一化に流されないで」 左京で日本学術会議シンポ
平成 31 年 1 月 17 日(木)	日本経済新聞	(とことんサーチ) 京都にプロ野球球団があった？ 防火・照明に壁 根付かず 当初、衣笠の球場使用
平成 31 年 2 月 14 日(木)	京都新聞	戦後の闇 優生保護法

平成31年 2月16日(土)	京都新聞	ヨシ原の風感じて 豪の建築家、左京で展示
平成31年 2月19日(火)	京都新聞	小規模博物館の課題共有 左京 全国の学芸員100人が共有
平成31年 2月28日(木)	京都新聞	鉄道史伝える地域活動紹介 2日、左京でシンポ
平成31年 3月12日(火)	京都新聞	(洛中洛外)北山駅周辺の文化施設、大学などをめぐるスタンプラリー
平成31年 3月18日(月)	京都新聞	「京でも災害知って」左京・音羽川で72年に土石流 小中学生向けに講演会
平成31年 3月22日(金)	産経新聞	若手4人の研究まとめる 京都学・歴彩館 紀要第1号発刊

1.7 施設の状況

○平成31年3月31日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積	116,932.79 m ²	
建物面積	6,716.04 m ²	延 23,940.68 m ²
建設費	約100億円	
構造	鉄骨造 地上4階 地下2階	

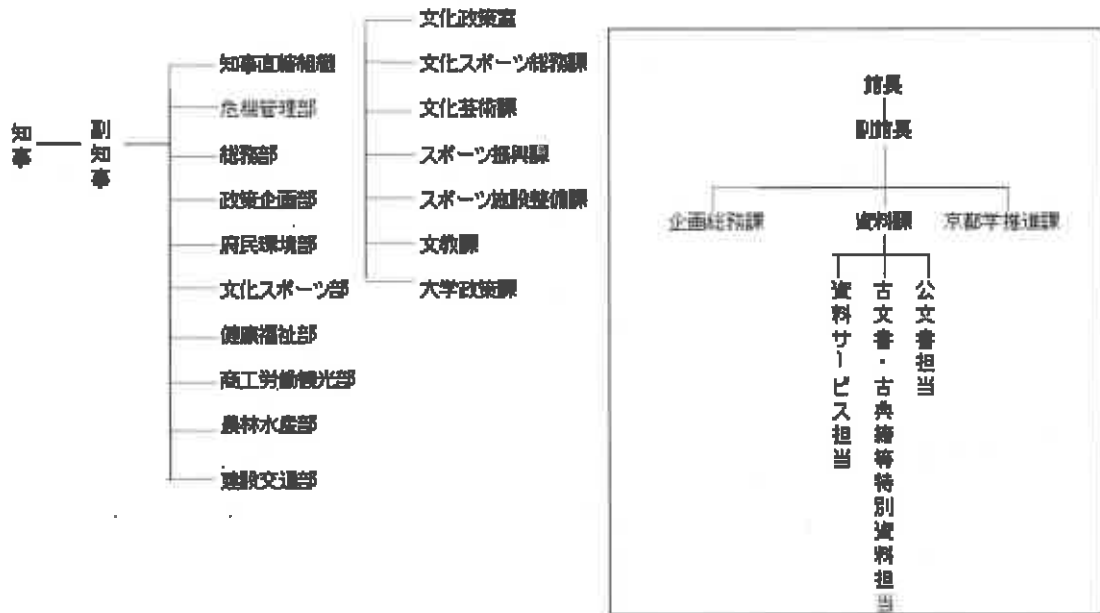
主要室の規模

1階		2階		地下1階		地下2階	
学習室	160 m ²	図書閲覧室	1,259 m ²	書庫・収蔵庫	3,447 m ²	書庫・収蔵庫	3,517 m ²
展示室	290 m ²	(開架書庫含)					
大ホール	511 m ²	府大閲覧室	2,012 m ²	撮影室	73 m ²		
小ホール	199 m ²	(書庫含)					
京都学 ラウンジ	151 m ²						
京都学研究室	142 m ²						
府大書庫等	177 m ²						

18 組織・業務分担・予算

(1) 組織

○平成31年4月1日現在（京都学・歴彩館）



(2) 職員数

○平成31年4月1日現在（京都学・歴彩館）

	職員（再任用を含む）	嘱託
館長	1	-
顧問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	8[※1]	4
資料課	26	19[※3]
京都学推進課	5[※2]	2
計	42	26

※1.2 副館長は企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

※3 府大受託分を含む

(3) 業務分担

○ 平成31年4月1日から

(7) 企画総務課

- 1 館運営等に関すること。
- 2 館発信事業の推進等に関すること。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関すること。
- 4 連絡調整に関すること。
- 5 予算、決算及び会計事務に関すること。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関すること。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関すること。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託等に関すること。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さないこと。
- 10 保安業務に関すること。

(4) 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収入並びに整理・保存に関すること。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関すること。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関すること。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関すること。

(ウ) 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況 (平成31年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	180,656	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費	70,469	
重要文化財京都府行政文書修理事業費	(6,120)	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館展示室運営事業費	(4,514)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
文化資料業務委託事業費	(59,835)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費	44,488	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費	14,450	京都の歴史、文化に関するフォーラム等を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
ICOM京都大会2019開催費	33,000のうち1,000	ICOM京都大会に関する記念イベントを実施
計	311,063	

19 平成30年度の主な活動

- 30. 4. 5 京都学ラウンジミニ講座4月第1回開催、以降翌3月まで毎月(全45回)開催
- 30. 5. 20 京都を学ぶセミナー「丹波編」第1回開催
- 30. 6. 3 明治維新150年記念シンポジウム「京都府文化・産業未来への挑戦」開催
- 30. 6. 5 京都を学ぶセミナー「丹波編」第2回開催
- 30. 6. 8 全国公文書館長会議(東京都)
- 30. 7. 10 京都を学ぶセミナー「丹波編」第3回開催
- 30. 7. 19 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 30. 8. 7 京都を学ぶセミナー「丹波編」第4回開催
- 30. 8. 28 図書館実習生受入(同志社大学)(~8.31)
- 30. 9. 8 日本古文書学会(共催)(~9.10)
- 30. 9. 14 京都を学ぶセミナー「丹波編」第5回開催
- 30. 9. 27 京都学ラウンジ倶楽部スタート
- 30. 9. 30 「南山城の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 30. 10. 1 平成30年度海外若手研究員「京都学研究員」受入開始
- 30. 10. 20 平成30年度東寺百合文書展開園講演
- 30. 10. 26 京都を学ぶセミナー「丹波編」第6回開催
- 30. 11. 8 京都を学ぶセミナー「丹波編」第7回開催
- 30. 11. 8 全史料協全国大会(沖縄県)(~11.9)
- 30. 11. 10 設立80周年記念陽明文庫講座開催
- 30. 12. 4 日本名作映画上映会開催
- 30. 12. 6 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 30. 12. 7 京都を学ぶセミナー「丹波編」第8回開催
- 30. 12. 15 寺子屋講座「京都の歴史を歩こう!~粟田口界限編~」
- 30. 12. 31 歴彩館紀要 vol.1発刊
- 31. 1. 8 京都を学ぶセミナー「丹波編」第9回開催
- 31. 2. 22 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー開催
- 31. 2. 27 周山書庫からの行政文書の移動(第1回)
- 31. 3. 2 地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム「鉄道史と地域をつなぐ」
- 31. 3. 8 全史料協近畿部会第150回例会
- 31. 3. 14 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 31. 3. 23 童司改メ三世茂山千之丞 京都府文化賞奨励賞受賞記念 特別公演&トーク開催
- 31. 3. 27 周山書庫からの行政文書の移動(第2回)
- 31. 3. 28 『京都を学ぶ【南山城編】』刊行
- 31. 3. 31 東寺文書研究会

20 京都学・歴彩館の設置に向けた取組経過の概要

旧総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応える施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備を進め、旧総合資料館は、平成28年9月をもって閉館し、平成28年12月に府立京都学・歴彩館として、生まれ変わりました。

◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

① 効率・効果的な運営

- ・開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
- ・外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成

② 設置根拠等の整備

- ・新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) …………… 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) …………… 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) …………… 主として植物園地域
- 憩う(親水) …………… 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) …………… 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・附属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

- ① 「国際京都学センター」(資料館内)を設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・附属図書館)の合同整備

- ② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民

提供方法の開発

- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化（可能なものから実施）

◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

△ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
 - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
 - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
 - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
 - ・ 閲覧ワンフロアー化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
 - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
 - ・ 施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
 - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
 - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
 - ・ 施設規模 9,000㎡程度

◆ 新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

- 公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成
 - ・ 新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
 - ・ 閲覧ワンフロアー化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
- 「京の記憶ライブラリ」の構築
 - ・ 総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブズ」を加え、「知デジ京都」としてリニューアル

※「京の記憶ライブラリ」：キーワード、カテゴリ検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム（23.4.1～館内運用、23.7.1～インターネット配信）

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成23年度）概要

- 建築設計コンペ、基本設計、埋蔵文化財調査実施
- 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - 館内にハード検討チームを設置し、公募型設計協議により決定された設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
 - ① 新資料館部門：閲覧、展示、収蔵等の各施設の基本構造及び設備
 - ② 国際京都学センター部門：京都学ラウンジ、講堂、セミナー室等の基本構造及び設備
- 国際京都学センター設立準備に係る協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
 - ・キックオフ事業の検討・予算化（国際シンポジウム、研究プロジェクト）
- 統合データベース構築に係る検討・協議
 - ・京都の歴史・文化に関する発信拠点となるべく、館蔵資料（60万点）の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた検討・予算化
- 所蔵資料に係る目録の電子データ化
 - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成24年度）概要

- 基本・実施設計、埋蔵文化財調査実施
- 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・前年度から引き続き館内にハード検討チームを設置し、設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
- 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
- 統合データベース構築に係る仕様案の作成
 - ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた仕様案を作成
- 所蔵資料に係る電子データ化
 - ・東寺百合文書のデジタル画像（5,494点、22,988コマ）を作成
 - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成25年度）概要

- 本体建築工事着工
- 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工図面について

の協議を行った。

○ 文化庁との協議

- ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。

○ 統合情報システム構築に係る仕様書の作成

- ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向け、情報提供依頼（RFI）を行い、仕様書に反映
- ・ユネスコ世界記憶の登録に向け、東寺百合文書Web公開システムを構築し、約44,000画像をインターネットで公開

○ 所蔵資料に係る電子データ化

- ・東寺百合文書のデジタル画像（13,210点、58,139コマ）を作成
- ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録や地方新聞等のデジタル画像を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成26年度）概要

○ 本体建築工事実施（掘削、躯体工事）

○ 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）

- ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工についての協議を行った。

○ 文化庁との協議

- ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について協議を行った。

○ 所蔵資料に係る電子データ化

- ・東寺百合文書WEBにデジタル画像を全点公開

○ 「京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業」の開始

- ・古文書、行政文書、地図、写真資料、貴重書等のデジタル画像を作成

○ 統合情報システムの構築

- ・京都府立大学、京都府立医科大学と、共用の図書システムを構築、運用開始
- ・古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成27年度）概要

○ 本体建築工事実施（躯体工事、内装工事、外構工事）

○ 文化庁との協議

- ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。

○ 所蔵資料に係る電子データ化

- 古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築、運用開始
- 「京の記憶アーカイブ」の公開
 - ・古文書、行政文書、写真資料、貴重書等のデジタル画像をはじめ、様々なコンテンツの公開
 - ・公開デジタル画像の CC-BY による提供の開始
- UHF 帯 IC タグによる資料管理体制の整備

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成 28 年度）概要

- 本体建築工事完成（躯体工事、内装工事）
- 設備工事等実施（電動式集密書架等収蔵設備、展示音響設備、ブラインド等設置、大ホール椅子等）
- 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第 53 条第 1 項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化
- 「京の記憶アーカイブ」の公開・推進
- UHF 帯 IC タグによる資料管理体制の整備

◆ グランドオープン後の取組（平成 29 年度）概要

- 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第 53 条第 1 項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化
- 「京の記憶アーカイブ」の公開・推進
- 外構工事・内装工事（補修）
- 駐車場・駐輪場整備
- 花時計設置（国際ソロプチミスト寄贈）

2 1 沿 革

【(旧)総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6. 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行(京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号)
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙げる。翌 16 日から閲覧業務等開始(庶務部に庶務係・
経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一
係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係)
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革(係を課とし、3 部 9 課)
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事
業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置(3 部 1
室 9 課)
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』(明治 18 年～昭和 44 年)のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資
料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編(庶務部に庶務課、資
料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の
3 部 1 室 5 課)
45. 9. 22 「館藏品陳列場」(現・2 階展示室)を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成(鉄筋コンクリート 2 階建 延 274. 76 m²)
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊

47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始
49. 8 教科書を収集
51. 1 「京の百景」を受入れ
51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
52. 4 古文書の公開を開始
52. 1 古文書所在情報調査を開始
53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
57. 4 古文書センター推進事業に着手
57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14 「草嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書のコピー業務を開始

- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
- 62. 5. 12 「古文書相談」を開始
- 63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
- 63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第 1 回「文化講座」を開催
- 2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
- 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
- 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される

13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
14. 7. 19 ホームページを開設
14. 11. 26 「古文書解説講座」を開始
14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
15. 11. 15 開館40周年を迎える
16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ」の公開開始
19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催
～11. 26
22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22
24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始

- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成31年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛藏に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋康三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟禪文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同范鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以來、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

